

## 乳幼児をもつ保護者の養育力と育児観に関する調査

母子保健研究部 宮原 忍・齋藤幸子  
東京都幼・小・中・高・心性教育研究会 竹井 操  
目白大学 内山絢子  
人間総合科学大学 星山佳治  
嘱託研究員 近藤洋子 (玉川大学)

### 要 約

乳幼児をもつ保護者を対象に EPSI (エリクソン心理社会段階目録検査) を用いたアンケート調査を行い、男女 323 人について育児観と養育力について分析した。主な結果は次の通りである。

- 1) EPSI 高低 3 群間の育児意識についての比較では、高群は低群に比べ、肯定的な育児観と育児についての自己効力感を持っていた。逆に、虐待傾向は低い群が高かった。EPSI は次世代育成力と正の関連を持っていることは過去のデータから一貫した結果であった。
- 2) SOC (首尾一貫感覚) を構成する 3 要素、把握可能感、予測可能感、有意味感別に検討したところ、有意味感が肯定的な育児意識に関連していた。毎日していることが喜びと満足を与えてくれるという有意味感を持つような、家庭育児支援が必要である。
- 3) 出産の無料化は 4 割が有効と考えていたが、自身が出産を考える割合は 2 割に留まった。これ以外に有効な少子対策は、出生後の継続的な経済的支援であるとの意見が多かった。
- 4) 出産費用の無料化に対する意識や世帯収入は、育児観などの他の項目との関連がなかったが、子どものためにお金や、時間、労力をかけることについては、EPSI 高低 3 群間の比較では差が認められ、高群は、子どもにお金をかけるだけでなく、手をかけることに肯定的傾向が認められた。経済支援のみならず、ジェネラティブティを高める援助が大切である。

キーワード : ジェネラティブティ, EPSI, SOC, 次世代育成力, 価値観, 継承

### Studies on the Nurture and Value in the Low Birthrate Society (Ⅲ)

Shinobu MIYAHARA, Sachiko SAITO, Misao TAKEI, Ayako UCHIYAMA, Yoshiharu HOSHIYAMA, Yoko KONDO

**Abstract :** From the standpoint that the recent decrease of birthrate of Japanese population is the consequence of the rapid industrialization, a survey on the nurturing capability and the underlying sense of value was performed on several groups.

In the year of 2005, the 323 parents of infants were surveyed using the questionnaire including Erikson's Psycho-social Stage Inventory (EPSI). Main results were following.

- 1) EPSI-high, -middle and -low groups were compared each other. The high EPSI group had more affirmative sense of nurturing and self efficacy compared to the low EPSI group. On the contrary, the child abuse tendency was high in the low EPSI group.
- 2) Among the Antonovsky's sense of coherence(SOC), the sense of meaningfulness was related to the affirmative sense of nurturing. The sense of joy in the every day routine of child rearing should be increased through the social backing.
- 3) Cost-free child-delivery was thought effective in 40% of the respondents. Only 20%, however, thought to have more children if the child-delivery cost would make free. Many thought the continuous economic support would be effective against the decreased.
- 4) The response to cost-free child-delivery and the family income had no relationship with the other items, such as the sense of nurturing, etc. But there were differences among three groups in the items such as the feeling to the expense of money, time or effort for children. Thus, the importance of the support to the parents' generativity was demonstrated as well as the economical support.

**Keyword :** generativity, EPSI, SOC, value, succession

## I 研究の目的

本研究では、わが国の少子傾向を”generativity”（生殖性）の問題として調査研究を進めてきた。”generativity”はE.H.エリクソンによる人生発達理論において(表1),成人期に獲得されるとする課題で、「生み出すこと,生産性,創造性」を包含する概念である。また「生殖性対停滞という対立命題から現れる新たな『徳』,つまり『世話』は,これまでに大切に(care for)してきた人や物や観念の面倒をみる(take care of)ことへの,より広範な関与である。」とされている<sup>1)</sup>。我々はこれを次世代育成力の中核概念と考えた。なお,一般に「生殖性」という訳語が伝えられているが,適当でないので,本報告では“ジェネラティビティ”と記述する。我々は,このジェネラティビティを育む社会環境のあり方を提示することを研究の目的としている。

これまでに,EPISI(エリクソン心理社会段階目録検査)<sup>2)</sup>を人格発達の指標とした意識調査を行い,人格の成熟度と次世代育成への積極性を示す項目との間に正の関連があることなどを明らかにした。<sup>7)~11)</sup>

本年は,現在乳幼児をもつ男女を対象に,養育力と育児に関する価値観を中心に調べ,実際の養育力(育児力)とEPISI(人格の成熟)との関連をみる。

価値観については,2006年1月13日「政府は『出産費用の無料化制度』導入の検討を開始する」との報道がなされたので,これを受け,その有効性の予測とともに,保護者のもつ経済的な価値観が育児にどのような関わりがあるかを検討する。以上により次世代育成支援対策の参考となる資料を提供することを目的とする。

表1. エリクソンによる人生発達段階

|      |      |        |        |
|------|------|--------|--------|
| VIII | 老年期  | 統合対    | 絶望、嫌悪  |
| VII  | 成人期  | 生殖性*対  | 停滞     |
| VI   | 前成人期 | 親密対    | 孤立     |
| V    | 青年期  | 同一性対   | 同一性の混乱 |
| IV   | 学童期  | 勤勉性対   | 劣等感    |
| III  | 遊戯期  | 自主性対   | 罪悪感    |
| II   | 幼児初期 | 自律性対   | 恥、疑惑   |
| I    | 乳児期  | 基本的信頼対 | 基本的不信  |

\* 本報告ではジェネラティビティと記す。

## II 研究方法

以下に示す本年度の調査データを分析後,3年間に収集したEPISI,SOC,対人スキルの得点を総括した。

### 1. 調査方法

6歳以下の乳幼児をもつ20代,30代の男女を対象に,インターネット経由のアンケート調査を実施した。調査方法は,はじめに上記の条件に合う対象を見つけるために,業者を通じ全国各地に在住するモニターにメールを

発送し,該当者にWeb上で回答してもらった。先着男女各150名を目安にデータ収集し,男性152名,女性171名を集計対象とした。調査時期は2006年2月であった。

設問項目は,本研究における過去の調査で継続して使用している指標であるEPISI(エリクソン心理社会段階目録検査),SOC(首尾一貫感覚)短縮版,<sup>3)</sup>対人関係スキル<sup>4)</sup>,世代継承観,希望子ども数などの他,新たに次の6領域の設問を追加した。

- 1) 出産無料化制度について
- 2) 育児にお金や労力をかけることについて
- 3) 子育ての喜び感
- 4) 虐待傾向
- 5) 育児に関する意識
- 6) 育児に関する自己効力感

項目の作成に当たっては,3)5)6)の項目は文献5)を,4)は文献6)を参考にした。

なおEPISIの質問項目については末尾に添付した。

**倫理的配慮:** インターネット調査を委託した業者は個人情報保護法に則ったプライバシーマークを取得しており,アンケート回答者の個人情報には依頼者側にも知られないシステムとなっている。

### 2. 分析方法

まず,男女別にクロス集計を行い比較した。次にEPISI得点と他の項目との関連をみるため,相関係数(Spearman)を出し,さらにEPISI高低で3群に分け多重比較を行った。SOCについては,13項目を予測可能感,把握可能感,有意味感の3要素に分け,それぞれ他の項目との相関をみた。結果の検定方法は,t検定,Kruskal-Wallisの順位和検定,多重比較はScheffeの方法で行った。以下有意判定の危険率は,\*は $p<0.05$ ,\*\*は $p<0.01$ を表し, $p<0.05$ 以下を有意とした。カテゴリー変数については,主な設問項目の重み付けを以下に示す。数量データとして扱う場合,各項目に「全く当てはまらない」から「よく当てはまる」などのスケールで,各設問内の合計得点では,ネガティブな項目は点数を逆転して合計した。

- 1) 子どもにお金や労力をかけることについて: 4件法, 0点~3点
- 2) 世代継承観(複数回答): 肯定的内容の項目1, 2, 6, 7のみ各1点
- 3) 子育ての喜び感: 4件法, 0点~3点
- 4) 虐待傾向: 4件法, 0点~3点
- 5) 育児に関する意識: 4件法, 0点~3点
- 6) 育児に関する自己効力感: 4件法, 0点~3点
- 7) EPISI: 5件法, 0点~4点
- 8) SOC: 7件法, 1点~7点
- 9) 対人関係スキル: 4件法, 0点~3点

### Ⅲ 結果

表2（後出）に男女別およびEPSI 高低3群別集計の結果を示した。

#### 1. 男女別全体集計結果

##### 1) EPSI・SOC・対人スキル

表3に示すように、EPSI の合計点では男女差はなく、ジェネラティビティだけに男女の差が認められ、男性が14.40と女性13.06に比べ高かった(\*\*)。SOC, 対人スキルでも合計得点の有意差は認められなかった(表2-3)。

表3. 男女別 EPSI・SOC・対人スキル得点

|         | 合計 323 人 |       | 男性 152 人 |       | 女性 171 人 |       | 検定 |
|---------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|----|
|         | 平均値      | 標準偏差  | 平均値      | 標準偏差  | 平均値      | 標準偏差  |    |
| 1 信頼性   | 13.99    | 3.35  | 13.68    | 2.97  | 14.26    | 3.64  |    |
| 2 自律性   | 17.99    | 3.76  | 18.03    | 3.59  | 17.95    | 3.92  |    |
| 3 自主性   | 16.50    | 3.47  | 16.39    | 3.49  | 16.61    | 3.45  |    |
| 4 勤勉性   | 16.56    | 3.97  | 16.78    | 3.91  | 16.37    | 4.03  |    |
| 5 同一性   | 17.20    | 4.14  | 17.07    | 3.81  | 17.32    | 4.41  |    |
| 6 親密性   | 16.23    | 4.27  | 15.78    | 3.84  | 16.63    | 4.59  |    |
| 7 生殖性   | 13.69    | 3.55  | 14.40    | 3.13  | 13.06    | 3.77  | ** |
| 8 統合性   | 16.15    | 3.99  | 16.01    | 3.63  | 16.27    | 4.29  |    |
| EPSI 合計 | 128.31   | 23.75 | 128.14   | 21.84 | 128.46   | 25.39 |    |
| SOC 合計  | 54.4     | 9.7   | 54.5     | 8.8   | 54.3     | 10.5  |    |
| 対人スキル合計 | 17.8     | 3.9   | 17.5     | 4.0   | 18.0     | 3.8   |    |

##### 2) 属性

年齢幅は28歳から39歳で、平均年齢は男性34.0歳、女性32.4歳で男性が高かった(\*\*)。

現在の子ども数は男性が1.67人、女性が1.45人で男性が多い(\*\*)。ほとんどが配偶者またはパートナーと暮らしており、単親と思われるのは男性2名、女性1名であった(表2-1)。

職業では男性は常勤勤め人が91.4%、女性は専業主婦が76%を占めていた。

##### 3) 世代継承

世代継承観10項目は複数回答で回答を求めた。そのうち有意な差が認められた項目は「2. 私は親や上の世代から伝えられる物的財産を大切にしたい」で男性48.7%・女性31.6%(\*\*)であった。これを含む肯定的な設問「2. 親や上の世代から伝えられる知的財産・生活の知恵を大切にしたい」「6. 私にとって、自分の子どもを生み育てることは大切なことだ」「7. 自分の子どもに限らず、次世代のために配慮したり世話をしたりすることは大切なことだ」について、各1点として合計点を算出した。男性2.47、女性2.31で有意な差はなかった。

希望子ども数は男性が2.38人、女性が2.19人で男性が多かった(\*\*)(表2-1)。

#### 4) 子ども・育児に関わる経済感

「出産の無料化制度によって子どもを産む人が増えると思う」割合は、男性40.1%・女性35.7%、「回答者自身が更に子どもを持つと思う」は、男性20.4%・女性20.5%であり、いずれも男女間の差がなかった(表2-1)。一般論としては4割近くがこの施策の効果があると考えているが、自分自身のこととして考えると2割に減っている。

「出産の無料化制度」以外に有効な少子対策・子育て支援策を記述回答で求めた意見をカテゴリー化しまとめた結果を表4に示した。具体的記述のなかったものは男性7名(4.6%)、女性4名(2.3%)と僅かで、全体の96.6%から意見が得られた。表に示す様に、出産時のみではなく、その後の子育て全般の継続的な経済援助と保育の充実や育児支援が求められており、それらが集約されていると思われる意見の代表として、表4の下に意見(1)をあげた。意見(2)は、経済援助や低料金の保育を求める類似内容の意見が多い中、支援の質、支援の基本的枠組みに触れたものである。また(3)は、やや細に入った内容であるが、当事者でない気がつきにくい、3人目の子を設ける経済的ハードルの高さを示す一例と言えよう。

#### 5) 育児観・育児意識

##### (1) 子育ての喜び感

8項目中3項目「1 子どもが思いやりや優しさを示してくれたとき」(\*)「4 子どもと一緒にのんびりしているとき」(\*)「8 子どもにおしゃれな格好をさせるとき」(\*\*)で、女性の得点が男性に比べ高かった。合計得点は男性18.6・女性19.0で差がなかった(表2-2)。

##### (2) 虐待傾向

行き過ぎれば虐待となりうる6種の育児行動について頻度をたずねた。「よくある」の割合が最も多かった項目は「大声で叱る」で男性7.2%・女性28.1%であった。合計得点は、男性3.95・女性4.98で女性が高かった(\*\*)(表2-2)。

##### (3) 子育てに関する意識

子育てについて感じている肯定的な8項目のうち「2 パートナーの親ぶりが頼もしく感じる」「3 パートナーに共に取り組む仲間意識を感じる」で男性の得点が高かった(\*\*)。合計得点は男性15.84・女性15.15で差はなかった(表2-2)。

##### (4) 自己効力感

育児に関連付けた自己効力感に関する7項目のうち、男性が高かった項目は「2. 私は新しく親になる人にとって手本となるような親である」(\*\*)「6 親として経験を積んですっかり慣れた」(\*)「7 よい親としての能力を十分備えている」(\*\*)であった。女性の方が高かった項目は「何か子どもを悩ませているかを一番良く知っているのは私である」(\*\*)であった。合計得点は、男性8.89・女性8.61で差はなかった(表2-2)。

表4. 「出産無料化制度」以外に、少子・子育て支援対策として有効と考えられる策（記述回答）

| 中項目と小計            | 小項目                                 | 全体  |       | 男性  |       | 女性  |       |
|-------------------|-------------------------------------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
|                   |                                     | n   | %     | n   | %     | n   | %     |
| 子育ての経済援助<br>319   | 1. 養育費（育児手当，児童手当など）                 | 100 | 31.0  | 39  | 25.7  | 61  | 35.7  |
|                   | 2. 医療費                              | 68  | 21.1  | 27  | 17.8  | 41  | 24.0  |
|                   | 3. 学費                               | 61  | 18.9  | 28  | 18.4  | 33  | 19.3  |
|                   | 4. 保育料                              | 31  | 9.6   | 12  | 7.9   | 19  | 11.1  |
|                   | 5. 税制優遇                             | 28  | 8.7   | 19  | 12.5  | 9   | 5.3   |
|                   | 6. 休業中の給与保障                         | 1   | 0.3   | 0   | 0.0   | 1   | 0.6   |
| 保育・教育<br>50       | 1. 保育内容の充実（延長，休日，病時）                | 26  | 8.0   | 12  | 7.9   | 14  | 8.2   |
|                   | 2. 保育所・定員を増やす                       | 18  | 5.6   | 4   | 2.6   | 14  | 8.2   |
|                   | 3. 教育・教師の質                          | 6   | 1.9   | 3   | 2.0   | 3   | 1.8   |
| 就業援助<br>50        | 1. 女性の就業支援（斡旋，在宅）                   | 19  | 5.9   | 3   | 2.0   | 16  | 9.4   |
|                   | 2. 育児休暇・休業とりやすく                     | 14  | 4.3   | 5   | 3.3   | 9   | 5.3   |
|                   | 3. 企業内の環境改善（理解，企業内保育）               | 12  | 3.7   | 4   | 2.6   | 8   | 4.7   |
|                   | 4. 労働時間の短縮（残業問題）                    | 5   | 1.5   | 1   | 0.7   | 4   | 2.3   |
| 社会環境・意識<br>31     | 1. 安全な環境                            | 13  | 4.0   | 3   | 2.0   | 10  | 5.8   |
|                   | 2. 育てやすい環境（施設，利用割引）                 | 9   | 2.8   | 5   | 3.3   | 4   | 2.3   |
|                   | 3. 意識の変革（男女別役割観など）                  | 5   | 1.5   | 2   | 1.3   | 3   | 1.8   |
|                   | 4. 将来の安心（年金）                        | 4   | 1.2   | 2   | 1.3   | 2   | 1.2   |
| 養育全般<br>22        | (出産よりその後の継続的支援が重要)                  | 22  | 6.8   | 11  | 7.2   | 11  | 6.4   |
| 医療<br>20          | 1. 妊婦健診費補助（無料化や保険適応）                | 10  | 3.1   | 1   | 0.7   | 9   | 5.3   |
|                   | 2. 不妊治療補助（無料化や保険適応）                 | 8   | 2.5   | 1   | 0.7   | 7   | 4.1   |
|                   | 3. 小児医療の充実                          | 2   | 0.6   | 1   | 0.7   | 1   | 0.6   |
| 家庭育児援助<br>8       | 1. 預かり・ベビーシッター（費用補助）                | 7   | 2.2   | 0   | 0.0   | 7   | 4.1   |
|                   | 2. 電話相談                             | 1   | 0.3   | 0   | 0.0   | 1   | 0.6   |
| その他<br>19         | (年金や税制など政策的提言，地域格差の解消，施策の根本的改善要望など) | 19  | 5.9   | 12  | 7.9   | 7   | 4.1   |
| 合計件数              |                                     | 489 | 151.4 | 195 | 128.3 | 294 | 171.9 |
| 無回答(または「特になし」と回答) |                                     | 11  | 3.4   | 7   | 4.6   | 4   | 2.3   |
| 全体人数              |                                     | 323 | 100.0 | 152 | 100.0 | 171 | 100.0 |

## 意見（1）30歳男性

実際に負担になっているのは、日々の生活の金銭面や自由を奪われることが負担になっているので、保育施設の充実や保育料を安くし、子育てしやすい環境にすることが大切と思われる。また、少子高齢化に対する問題として、高齢者の待遇や施設のほうに目が向けられ充実しているように思われるので、もっと少子化対策に力をいれて欲しい。

## 意見（2）31歳女性

行政・民間団体とも、子育て支援をただするのではなく、当事者の目線に立つことが必須だと言えます。「お母さん」「ママ」呼ばわりしている限り、母となった女性が心の壁を取り払うことはないでしょう。年齢が上、子育て経験がある、というだけで「今時の母親は！」と教育し直そうとするような年輩の支援者が、残念ながらもまだいます。子どもを産むまでは一社会人として自立していた人達が、新米母というだけでそのような子ども扱いをされています。乳幼児期の子育てをトラウマ化しているケースもあります。もっと一人の人間として、母となった女性を認め、地域・社会全体で一人一人の子どもを育てていく環境造りが大切だと思います。

## 意見（3）34歳男性

チャイルドシート規制の緩和。チャイルドシート規制の為に5人乗りの乗用車に大人2人+子供3人が乗れない。3人目の子供が出来れば7人乗り以上の車を買う必要があり経済的に無理。

2. 経済感と他の項目との相関

Q7 世帯収入, Q10・Q11 の出産費用無料制度と他の項目との相関は低く, 0.3 を超える項目はなかった。

3. EPSI 得点と他の項目の相関

中程度以上 (0.3 以上) の相関が認められた項目は表 5 の通りであった。いずれも無相関の検定結果は危険率 1%以下で有意である。

Q17 の子育てに関する意識の設問から 2 項目, Q18 の子育てに関連する自己効力感から 4 項目, およびそれぞれの設問の合計点で, 中程度 0.330-0.428 の相関が認められた。

Q20. SOC の各項目では, 13 項目中 9 項目で中程度以上の相関が認められ, 合計得点では, 0.671 の相関が認められた。

Q21 対人関係スキルについては, 10 項目中 9 項目に中程度以上の相関が認められ, 合計点では 0.671 と SOC と同程度の相関が認められた。

4. EPSI 得点高低 3 群別集計

EPSI 得点の範囲は, 29-193 点で, 平均が 128.3 であった。これを以下の表 6 の群に分けて比較した結果を表 2 (後出) の右列に示した。

表 6 EPSI 得点高低 3 群内訳

|    | 得点      | 人数  | 男性 | 女性 |
|----|---------|-----|----|----|
| 低群 | 29-119  | 110 | 51 | 59 |
| 中群 | 120-139 | 108 | 58 | 50 |
| 高群 | 140-193 | 105 | 43 | 62 |

1) 属性

年齢, 子どもの数, 世帯収入とも 3 群間で差がなかった。

2) 世代継承

Q9 世代継承観に関する設問で, 高群が中群・低群に比べ高かった項目は「2 知的財産や生活の知恵を大切にしたい」(\*\*)「6 私にとって, 自分の子どもを生み育てることは大切なことだ」(\*\*)「7 自分の子どもに限らず, 次世代のために配慮や世話をすることは大切なことだ」(\*\*)である。反対に, 高群が他群にくらべ低かった項目は, 「4 親世代の考え方が理解できない」(\*\*), 「5 親世代の価値観は通用しないので, 子どもは自分の価値観を作って行けばよい」(\*\*)である。肯定的な項目 1.2.6.7 の合計点でも, 高群が中群・低群に比べて高かった(\*\*)。

希望子ども数では, 低群 2.40 人, 中群 2.24 人, 高群 2.18 人と低群が多めであるが有意な差ではなかった (表 2-1)。

表 5 EPSI と中程度以上の相関が認められた項目

|        | 設問項目   | 相関    |
|--------|--|-------|
| Q17-4  | 子どもを見守り, 成長を共に喜んでくれる人がたくさんいる                             | 0.330 |
| Q17-8  | 子育ては楽しい  | 0.324 |
| Q17 合計 | 育児意識合計   | 0.359 |
| Q18-2  | 私は, 新しく親になる人にとって, 手本になるような親である                           | 0.358 |
| Q18-3  | 私にとって, 子育ては自分で対処しやすく, 問題も比較的簡単に解決できる                     | 0.353 |
| Q18-4  | 私には, 自分の子どもの世話をするために必要な技量がある                             | 0.406 |
| Q18-7  | 私は, よい親としての能力を十分に備えている                                   | 0.331 |
| Q18 合計 | 自己効力感合計  | 0.428 |
| Q20-1  | あなたは, 自分のまわりで起こっていることがどうでもいい, という気持ちになることがありますか<全くなかった>  | 0.465 |
| Q20-4  | 今まで, あなたの人生には, 明確な目標や目的が<あった>                            | 0.420 |
| Q20-6  | あなたは, 不慣れな状況にいると感じ, どうすればよいのかわからない, と感じる場合がありますか<まったくない> | 0.328 |
| Q20-7  | あなたが毎日していることは<喜びや満足>をあたえてくれる                             | 0.565 |
| Q20-8  | あなたは, 気持ちや考えが非常に混乱することがありますか<まったくない>                     | 0.513 |
| Q20-9  | あなたは, 本当なら感じたくないような感情をいだいてしまうことがありますか<まったくない>            | 0.340 |
| Q20-11 | 何かが起きたとき, ふつう, あなたは, <適切な見方をしてきた>                        | 0.368 |
| Q20-12 | あなたは, 日々の生活で行っていることにほとんど意味がない, と感じる場合がありますか              | 0.556 |
| Q20-13 | あなたは, 自制心を保つ自信がなくなることがありますか<まったくない>                      | 0.441 |
| Q20 合計 | SOC 合計   | 0.671 |
| Q21_1  | 自分の感情を適切に表現することができる                                      | 0.450 |
| Q21_2  | 自分の意見を相手に伝えることができる                                       | 0.562 |
| Q21_3  | 相手の言うことに耳を傾けることができる                                      | 0.343 |
| Q21_4  | 相手の言葉や感情を理解できる   | 0.361 |
| Q21_5  | 自分の感情をコントロールできる  | 0.427 |
| Q21_6  | 自分を否定的に見ないで, 長所を見つけようとする                                 | 0.489 |
| Q21_7  | 相手と一語に解決策を見出そうとする  | 0.438 |
| Q21_8  | 相手を理解するスキルを上達させようとする                                     | 0.458 |
| Q21 合計 | 対人スキル合計  | 0.671 |

註)Q20. SOC の各項目については, 得点の最も高い選択肢< >内に記した。

### 3) 子どもにかかるお金・時間・労力

出産費用の無料化制度に関わる2つの設問 Q10「出産無料化で子どもを生む人が増えると思いますか」、Q11「出産無料化であなた自身はもう一人考えますか」では、いずれも3群間に差は認められなかった(表2-1)。

Q13 子どものためにお金をつかうことについては、「1. 自分の子どものために、お金を使うことは楽しい」、  
「3. 子どもの養育費を捻出するために、自分のための出費を我慢してもかまわない」、  
「4. あまりお金をかけなくても、子どもは育てられると思う」の設問で低い相関が認められ、高群は他群に比べて高い傾向はあるが、多重比較では有意な差は認められなかった(表2-1)。

Q14 子どものために時間や労力を使うことに関しては、「1. 子どものために時間を使うことは楽しい」で有意な差が認められ、高群が他群に比べて高い。「2. 子どものためより、自分の仕事や趣味のために時間を使いたい」は、逆に低群が高群に比べ高かった。「4. あまり時間をかけなくても、子どもは育てられると思う」では高群は他群に比べて低い傾向はあるが、多重比較では各群間に有意な差は認められなかった。

### 4) 育児意識

#### (1) 子育ての喜び感

Q15 子育ての喜びを感じるに関する設問では「1. 子どもが思いやりや、やさしさを示してくれたとき」で高群が中群より高く、「3. 子どもがよく食べ、よく飲むとき」と「5. 家族一緒の団らんするとき」高群は他群に比べて高かった。合計点では、低群 18.72、中群 18.31、高群 19.47 と高群が中群に比べ有意に高かった(表2-2)。

#### (2) 虐待傾向

Q16 虐待傾向に関する項目では、「6つねる」以外のすべての項目で差が認められ、低群が高群に比べて高い項目が多かった。「3. 大声で叱る」「4. お尻や手を叩く」では低-中群間でも差が認められ、低群が高かった。合計点では、低群 5.62、中群 4.20、高群 3.49 と低群が他群に比べ有意に高かった(表2-2)。

#### (3) 子育て意識

Q17 子育てに関する意識の設問は肯定的な内容であり、すべての項目で、高群が低群に比べて高かった。1, 2, 4, 7, 9, の項目では高群は中群とくらべても高く、8の項目では、中群が低群より高かった。合計点では、低群 14.28、中群 15.10、高群 17.12 と高群が他群に比べ高かった(表2-2)。

#### (4) 自己効力感

Q18 子育てに関する自己効力感においても、すべての項目で、高群が低群に比べて高かった。合計点では、低群 7.27、中群 8.82、高群 10.19 と高群が他群に比べ高く、中-低群間でも中群高かった(表2-2)。

### 5) SOC・対人スキル

Q20. SOC においては、「2 思わぬ行動に驚かされた経

験」を除くすべての項目で、高群が低群に比べて高かった(\*\*)。合計得点では、低群 47.36、中群 54.07、高群 62.08 と差があった(\*\*)(表2-3)。

Q21 対人スキルにおいても、すべての項目で差が認められ高群が他群に比べ高かった(\*\*)。合計得点では、低群 14.95、中群 17.87、高群 20.68 と差があった(\*\*)(表2-3)。

以上、EPSI 高低3群間の比較から、EPSI 得点の高い群は低い群に比べ、子育てに楽しみや喜びを感じるが多く、子育てを肯定的に評価し自己効力感も高いといえる。逆に、虐待傾向は低群が高かった。子育て中の親の人格の成熟度が子育てへの積極性へ関連しているといえよう。EPSI と SOC・対人関係スキルとの関連も高いが、各項目では関連の強さに違いがあり、以下で SOC の要素別に分析を行う(表2-3)。

### 5. SOC と他項目の相関

アントノフスキーによれば、SOC(首尾一貫感覚)は3つの要素で構成されている。表2-3の項目番号に付してある co, ma, me がこれを表し、それぞれ予測可能感・把握可能感・有意味感(conprehensibility, manageability, meaningfulness)の略号となっている。

3グループ別の合計得点と他項目との関連をみたが、0.3以上の相関は、有意味感合計で多く認められた。Q17 育児意識の「8 子育ては楽しい」が0.356、Q17 合計得点が0.349、Q18 自己効力感の「4. 私には子どもの世話をするために必要な技量がある」0.304、Q17 合計得点が0.318であった。EPSIの低位尺度8グループそれぞれとは予測可能感、把握可能感、有意味感いずれも相関が認められるものが多く、有意味感合計と EPSI 合計得点の相関が0.700と最も高かった。

SOC 13項目個々の相関をみると、SOC 有意味感「7. あなたが毎日していることは喜びと満足を与えてくれる」が、Q17 育児意識の「4. 子どもを見守り、成長を共に喜んでくれる人がたくさんいる」で0.361、「8. 子育ては楽しい」で0.363と2項目で中程度の相関が認められた。

### 6. 過去3年間のデータ

継続してデータを収集している EPSI, SOC, 対人関係スキルの得点の3年間分を概観する。EPSI 低位項目は図1に示した。EPSI 合計得点は次のようになっており、年齢が上がるにつれ得点も高くなっている。

|                      |       |
|----------------------|-------|
| 15年度 Web 調査, 15-25 歳 | 117.1 |
| 16年度 大学生             | 127.7 |
| 16年度 大学生の父           | 143.9 |
| 16年度 大学生の母           | 138.9 |
| 17年度 Web 調査 乳幼児を持つ男性 | 128.1 |
| 17年度 Web 調査 乳幼児を持つ女性 | 128.5 |

## IV 考察

我が国の少子化は、その根底に高度産業化に伴う国民性の変化が存在すると考えられる。

E, H, エリクソンは、有名な人間発達の漸成図式において、成人の発達課題を generativity (生殖性、あるいは世代性などの訳語を当てるが、適当ではない) とし、「子孫、あるいは業績を生み出し、さらにケアすること」をその内容としたが、われわれの「養育力」と通じるところがあると考えた。そこで、平成12～14年度に行った先行研究<sup>9)10)11)</sup>において、子どもを生み育てること、価値観を伝達することと、EPSI (エリクソン心理社会的段階目録検査) 得点とを調べ、強い関連が存在することを確認した。

本研究においては、若者とその両親とのペアと、乳幼児の親について調査を試み、EPSIに加えて、アントノフスキーのSOC (首尾一貫感覚) と対人関係スキルを用い、分析を進めるとともに、乳幼児の親については、「出産費用の無料化」に対する反応を、調査項目に加えた。

第一報<sup>7)</sup>においては、文献研究によって、基礎的検討を行い、第二報<sup>8)</sup>においては、EPSI が、学生-父親で有意な相関が見られたが、学生-母親では、有意とはならなかった。学生の将来持ちたい子ども数は、学生の世代間交流、世代継承観、母親の希望孫数などと相関が見られ、養育性の継承が示唆された。

本年の研究では、乳幼児の親323人について、同様の調査を行い、それに加えて「出産費用の無料化」についての反応をたずねた。

### 1) EPSI 得点について

今回の調査対象のEPSI得点の平均値は128.31で、昨年度調査対象の大学生127.7とあまり違いがなかった。また性差はなかった。中西によれば<sup>2)</sup>、EPSIの性差は認められているが、我々の行ったこれまでの調査においても男女差は認められないことはあり、昨年度の大学生の親子対象の調査では、父親143.9・母親138.9で有意な差はなかった。ただし、ジェネラティビティについては、昨年度と同様、本年も認められ、男性が高いという結果であった。性差については、昨年度の調査では、養育力の継承に関連して、父に関して差が認められるなど、何らかの傾向が認められ、今後、更に追究して行く必要がある。

EPSI得点の高低により3群に分け比較した結果、高い群は低い群に比べ、虐待傾向が低く、肯定的な育児観と育児についての自己効力感を持っていた。EPSIは次世代育成力と正の関連を持っているといえ、このことは過去の我々の調査結果からの一貫した結果である。すなわち、親の人格の成熟度が養育力(育児力)の決定要因のひとつと考えられると言えよう。

### 2) SOC について

SOC (首尾一貫感覚) を構成する3要素、把握可能感、

予測可能感、有意味感別に検討した結果、有意味感が最も多く肯定的育児観の項目との相関を認めた。また、EPSIとの相関も高かった。すなわち、EPSIの高い群が「子育てが楽しい」としている背景は、日々の生活における有意味感である。育児をしながらの毎日の生活が、喜びと満足が得られるような支援が求められている。

### 3) 経済感覚と育児観

経済に関する感覚とEPSI・育児観とどのような関連があるかをみるため、出産費用の無料化や子どものためにお金を使うことについて、育児意識など他の項目との相関を調べたが、明確な関連は認められなかった。出産を無料化した場合に産産を考える人は2割であるが、そのグループの特徴については更なる分析が必要である。一方、出産費用の無料化以外に有効な少子対策・育児支援策をたずねたところ「出生後の継続的な医療費や教育費を含む養育費の援助が必要である」との意見が圧倒的多数であった。すでに子どものいる人たちの2人目、3人目の産産を考えるきっかけとして有効な策は、出産費用の無料化だけではないと言えよう。

育児にかかる経済感覚のEPSI高低3群間の比較では、「子どものためにお金を使うのは楽しい」「子どものために自分の出費を我慢してもかまわない」で差を認め、いずれも高群がやや高い傾向があった。

一方、お金ではなく、労力や時間を使うことについて、高群は他群に比べて、「子どものために時間を使うことは楽しい」と感じており、逆に低群は「子どものためより、自分の仕事や趣味のために時間を使いたい」と感じていた。「あまり時間をかけなくても子どもは育てられると思う」でも差を認め、高群が低い傾向が認められた。

すなわち、EPSIの高い群は子どものためにお金や時間、労力を使うことが苦にならない傾向があり、一方低い群は、子どもにお金・時間・労力をかけたりすることを苦にする傾向があると考えられた。

以上から、仮に育児支援対策をEPSIの低い群に焦点を当てた場合、経済支援のみならず、育児そのものへの支援が大切であるといえよう。保育などの育児代行のみならず、親が子を世話すること自体すなわち、ジェネラティビティを高める援助が必要である。

## V 結論

1) 出産費用の無料化に対する意識や世帯収入は、育児観などの他の項目との関連がなかったが、子どものためにお金や、時間、労力をかけることは、EPSI高低3群間の比較では差が認められ、高群は、子どもにお金をかけるだけではなく、手をかけることに肯定的傾向が認められた。

2) 産産の無料化は4割が有効と考えていたが、これ以外に有効な少子対策は、出生後の継続的な経済的支援であるとの意見が多かった。

3) EPSI 高低3群の育児意識に関する比較では、高群は低群に比べ、肯定的な育児観と育児についての自己効力感を持っていた。逆に、虐待傾向は低い群が高かった。EPSI は次世代育成力と正の関連を持っていることは過去のデータからも一貫した結果であった。

4) SOC(首尾一貫感覚)を構成する3要素、把握可能感、予測可能感、有意味感別に検討したが、有意味感の1項目だけが肯定的な育児意識に関連していた。毎日していることが喜びと満足を与えてくれるという有意味感を持つような、家庭育児支援が大切である。

## 文献

- 1) E.H. エリクソン. ライフサイクル, その完結. みすず書房, 1989; 88-89
- 2) 中西信男・佐方哲彦. EPSI-エリクソン心理社会的段階目録検査-. 上里一郎監修. 心理アセスメントハンドブック第2版, 西村書店, 2001; 365-376,
- 3) アーロン・アントノフスキー, 山崎喜比古・吉井清子監訳, 健康の謎を解く; ストレス対処と健康保持のメカニズム, 2001, 有信堂
- 4) R. ネルソン・ジョーンズ, 相川充訳, 思いやりの人間関係スキル; 一人できるトレーニング第10版, 誠信書房, 2001。
- 5) 近藤洋子, 他; 平成12年度子育てに喜びが持てる背景要因に関する研究事業報告書(こども未来財団), 子育てに喜びがもてる背景要因に関する研究会
- 6) 内山絢子, 他; 常習的暴力加害者に関する研究-児童期の暴力被害との関係を中心に-, 平成5-7年度科学研究費補助金 総合研究(A) 研究結果報告書(研究代表者 荻原玉味) 第2部一般の母親が乳幼児に対して行う虐待行為の実態, p51-103, 平成8年3月,
- 7) 宮原 忍・他. 少子社会における養育力と価値観に関する研究 (I) EPSI (エリクソン心理社会的段階目録検査) とライフスキル. 日本子ども家庭総合研究所紀要. 2004; 第40集: 129-142.
- 8) 宮原 忍・他. 少子社会における養育力と価値観に関する研究 (II) 親子間の継承に関するアンケート結果. 日本子ども家庭総合研究所紀要. 2005; 第41集: 103-116
- 9) 宮原 忍・他. 少子社会における個人および社会の養育力に関する母子保健学的研究(第一報) 文献研究. 日本子ども家庭総合研究所紀要, 2001; 第37集: 97-115
- 10) 宮原 忍・他. 少子社会における個人および社会の養育力に関する母子保健学的研究(第二報) 次世代育成に関するアンケート調査結果. 日本子ども家庭総合研究所紀要, 2002; 第38集: 151-163.
- 11) 宮原 忍, 他. 少子社会における個人および社会の養育力に関する母子保健学的研究(第三報) 「次世代育成に関するアンケート調査」分析と統括, 日本子ども家庭総合研究所紀要, 2003; 第39集: 151-167.



表2-1. 性別およびEPSI得点高低3群別集計結果(1)

\*は5%水準で、\*\*は1%有意

|   | 合計    | 男性    | 女性    | 男女<br>T検定 | A      | B      | C      | 順位<br>和検<br>定 | 多重比較 |    |    |
|---|-------|-------|-------|-----------|--------|--------|--------|---------------|------|----|----|
|   |       |       |       |           | EPSI低群 | EPSI中群 | EPSI高群 |               | AB   | AC | BC |
|   |       |       |       |           | 110    | 108    | 105    |               |      |    |    |
| 対象人数  | 323   | 152   | 171   |           |        |        |        |               |      |    |    |
| <b>属性</b>   |       |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |
| Q2 年齢   | 33.19 | 34.05 | 32.42 | **        | 33.25  | 33.11  | 33.20  |               |      |    |    |
| Q4- 子ども数  | 1.55  | 1.67  | 1.45  | **        | 1.65   | 1.56   | 1.44   |               |      |    |    |
| <b>世代継承</b>   |       |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |
| Q8 希望子ども数   | 2.28  | 2.38  | 2.19  | *         | 2.40   | 2.24   | 2.18   |               |      |    |    |
| Q9世代継承観：あなたのお考えにおいてはまる項目にいくつでも○をつけてください(複数回答)               |       |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |
| 1 私は、親や上の世代から伝えられる(物的)財産を大切にしたい                             | 0.40  | 0.49  | 0.32  | **        | 0.32   | 0.44   | 0.44   |               |      |    |    |
| 2 私は、親や上の世代から伝えられる「知的財産」や「生活の知恵」を大切にしたい                     | 0.67  | 0.64  | 0.70  |           | 0.55   | 0.65   | 0.82   | **            | **   | *  |    |
| 3 親世代は自分達のごとで精一杯で、我々世代への配慮が足りないと思う                          | 0.08  | 0.09  | 0.07  |           | 0.13   | 0.06   | 0.06   |               |      |    |    |
| 4 私には親世代の考え方が理解できない   | 0.06  | 0.05  | 0.07  |           | 0.13   | 0.02   | 0.03   | **            | **   | ** |    |
| 5 新しい時代には、親世代の価値観は通用しないので、子どもは自分の価値観を作って行けばよい               | 0.25  | 0.28  | 0.22  |           | 0.35   | 0.24   | 0.15   | **            | **   | ** |    |
| 6 私にとって、自分の子どもを生み育てることは大切なことだ                               | 0.73  | 0.74  | 0.72  |           | 0.60   | 0.77   | 0.82   | **            | **   | ** |    |
| 7 自分の子どもに限らず、次世代のために配慮したり世話をすることは大切なことだ                     | 0.60  | 0.61  | 0.58  |           | 0.47   | 0.60   | 0.72   | **            | **   | ** |    |
| 8 子どもは次の時代の担い手だから、社会全体がもっと養育に責任を持つべきだ                       | 0.67  | 0.64  | 0.69  |           | 0.60   | 0.66   | 0.74   |               |      |    |    |
| 9 私は、自分のことで精一杯で、次の世代のことを考える余裕がない                            | 0.07  | 0.05  | 0.09  |           | 0.11   | 0.06   | 0.05   |               |      |    |    |
| 10 現代は、次世代の育成より、高齢者問題が優先されるべきである                            | 0.02  | 0.03  | 0.02  |           | 0.05   | 0.02   | 0.01   |               |      |    |    |
| Q9 世代継承観合計(1,2,6,7各1点として合計)                                 | 2.39  | 2.47  | 2.32  |           | 1.94   | 2.45   | 2.80   | **            | **   | ** |    |
| <b>子どもにかかるお金・時間・労力</b>                                      |       |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |
| Q10 出産無料化で子どもを生む人が増えると思う。                                   | 0.38  | 0.4   | 0.36  |           | 0.37   | 0.36   | 0.40   |               |      |    |    |
| Q11 出産無料化であなた自身がもう一人子を考える。                                  | 0.20  | 0.2   | 0.20  |           | 0.21   | 0.19   | 0.21   |               |      |    |    |
| Q13. お子さんのために、お金をつかうことについて伺います。＜全くそう思わない1点～とてもそう思う4点＞       |       |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |
| 1 自分の子どものために、お金を使うことは楽しい                                    | 2.26  | 2.3   | 2.23  |           | 2.22   | 2.19   | 2.38   | *             |      |    |    |
| 2 子どもより、自分のためにお金を使いたい                                       | 1.21  | 1.28  | 1.16  |           | 1.28   | 1.23   | 1.12   |               |      |    |    |
| 3 子どもの養育費を捻出するために、自分のための出費を我慢してもかまわない                       | 2.07  | 2.09  | 2.06  |           | 1.99   | 2.03   | 2.20   | *             |      |    |    |
| 4 あまりお金をかけなくても、子どもは育てられると思う                                 | 1.71  | 1.75  | 1.67  |           | 1.63   | 1.67   | 1.83   |               |      |    |    |
| 5 子どもの養育費は、もっと国や社会が負担すべきだ                                   | 2.38  | 2.32  | 2.44  |           | 2.44   | 2.34   | 2.37   |               |      |    |    |
| Q14. お子さんのために、あなたの時間や労力を使うことについて伺います。＜全くそう思わない1点～とてもそう思う4点＞ |       |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |
| 1 子どものために時間を使うことは楽しい  | 2.32  | 2.49  | 2.18  | **        | 2.19   | 2.29   | 2.50   | **            | **   | *  |    |
| 2 子どものためより、自分の仕事や趣味のために時間を使いたい                              | 1.52  | 1.46  | 1.57  |           | 1.66   | 1.51   | 1.37   | *             | **   |    |    |
| 3 子どもの養育をするために、自分の時間が減ってもかまわない                              | 1.78  | 1.93  | 1.65  | **        | 1.75   | 1.75   | 1.86   |               |      |    |    |
| 4 あまり時間をかけなくても、子どもは育てられると思う                                 | 1.17  | 1.2   | 1.15  |           | 1.24   | 1.24   | 1.04   | *             |      |    |    |
| 5 子どもの養育は、もっと国や社会が担うべきだ(保育や託児)                              | 2.03  | 1.96  | 2.09  |           | 2.09   | 1.98   | 2.01   |               |      |    |    |

表2-2. 性別およびEPSI得点高低3群別集計結果(2)

|  | 合計                                 | 男性    | 女性    | 男女<br>T検定 | A      | B      | C      | 順位<br>和検<br>定 | 多重比較 |    |    |
|--|------------------------------------|-------|-------|-----------|--------|--------|--------|---------------|------|----|----|
|  |                                    |       |       |           | EPSI低群 | EPSI中群 | EPSI高群 |               | AB   | AC | BC |
| 対象人数   | 323                                | 152   | 171   |           | 110    | 108    | 105    |               |      |    |    |
| <b>育児観・育児意識</b>  |                                    |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |
| Q15 子育ての喜び感：どのようなときに子育ての喜びを感じますか。〈全く感じない0点～とても感じる3点〉             |                                    |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |
| 1  | 子どもが思いやりや、やさしさを示してくれたとき            | 2.82  | 2.76  | 2.87      | *      | 2.81   | 2.73   | 2.91          | **   |    | ** |
| 2  | 子どもの機嫌が良いとき                        | 2.38  | 2.37  | 2.40      |        | 2.38   | 2.30   | 2.48          |      |    |    |
| 3  | 子どもがよく食べ、よく飲むとき                    | 2.55  | 2.53  | 2.56      |        | 2.46   | 2.48   | 2.70          | **   | ** | ** |
| 4  | 子どもと一緒にのんびりしているとき                  | 2.62  | 2.54  | 2.69      | *      | 2.55   | 2.58   | 2.72          | *    |    |    |
| 5  | 家族一緒にの団らんのとき                       | 2.68  | 2.64  | 2.72      |        | 2.59   | 2.63   | 2.84          | **   | ** | ** |
| 6  | 自分の子どもが他の子どもより優れていると感じるとき          | 1.89  | 1.95  | 1.84      |        | 1.92   | 1.84   | 1.91          |      |    |    |
| 7  | 子どもが自分の期待に答えていると感じたとき              | 2.18  | 2.23  | 2.14      |        | 2.21   | 2.14   | 2.20          |      |    |    |
| 8  | 子どもにおしゃれな格好をさせるとき                  | 1.70  | 1.57  | 1.81      | **     | 1.79   | 1.61   | 1.70          |      |    |    |
|  | Q15合計点                             | 18.83 | 18.6  | 19.03     |        | 18.72  | 18.31  | 19.47         | *    |    | *  |
| Q16. 虐待傾向：お子さんに対して以下のようなことをしますか。〈ない0点～よくある3点〉                    |                                    |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |
| 1  | 泣いても放っておく                          | 1.31  | 1.22  | 1.39      |        | 1.52   | 1.27   | 1.14          | **   |    | ** |
| 2  | 食事を与えない                            | 0.05  | 0.08  | 0.03      |        | 0.12   | 0.03   | 0.01          | *    | *  |    |
| 3  | 大声で叱る                              | 1.43  | 1.16  | 1.67      | **     | 1.75   | 1.42   | 1.11          | **   | *  | ** |
| 4  | お尻や手をたたく・ぶつ                        | 0.87  | 0.76  | 0.96      | *      | 1.11   | 0.78   | 0.70          | **   | *  | ** |
| 5  | 顔や頭をたたく・ぶつ                         | 0.61  | 0.55  | 0.66      |        | 0.87   | 0.56   | 0.39          | **   | ** | ** |
| 6  | つねる                                | 0.18  | 0.18  | 0.18      |        | 0.25   | 0.16   | 0.12          |      |    |    |
|  | Q16合計点                             | 4.45  | 3.95  | 4.89      | **     | 5.62   | 4.20   | 3.49          | **   | ** | ** |
| Q17. 子育て意識：以下のようなことについて、どのように思いますか。〈全くそう思わない0点～とてもそう思う3点〉        |                                    |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |
| 1  | 子どもがきっかけで自分の世界が広がった                | 2.22  | 2.23  | 2.22      |        | 2.15   | 2.15   | 2.38          | **   | *  | *  |
| 2  | パートナー（夫・妻など）の親ぶりが頼もしく感じる           | 1.96  | 2.18  | 1.77      | **     | 1.86   | 1.86   | 2.17          | **   | *  | *  |
| 3  | パートナーに、共に子育てに取り組む仲間意識を感じる          | 1.94  | 2.11  | 1.79      | **     | 1.80   | 1.90   | 2.13          | **   | *  |    |
| 4  | 子どもを見守り、成長を共に喜んでくれる人がたくさんいる        | 2.40  | 2.41  | 2.38      |        | 2.23   | 2.28   | 2.70          | **   | ** | ** |
| 5  | 自分の努力によって、子どもが成長した                 | 1.71  | 1.64  | 1.76      |        | 1.57   | 1.69   | 1.87          | **   | *  |    |
| 6  | 子どもに十分手をかけていると胸を張って言える             | 1.53  | 1.53  | 1.53      |        | 1.33   | 1.55   | 1.71          | **   | ** | ** |
| 7  | 自分の子育ては認められていると感じる                 | 1.54  | 1.5   | 1.57      |        | 1.38   | 1.47   | 1.77          | **   | ** |    |
| 8  | 子育ては楽しい                            | 2.19  | 2.24  | 2.14      |        | 1.96   | 2.21   | 2.39          | **   | *  | ** |
|  | Q17合計点                             | 15.48 | 15.84 | 15.16     |        | 14.28  | 15.10  | 17.12         | **   | ** | ** |
| Q18. 自己効力感：あなたは、以下のようなことについてどの程度、自信がありますか。〈全く自信がない0点～かなり自信がある3点〉 |                                    |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |
| 1  | 私には、自分の言動が子どもにどのように影響するかが分かる       | 1.74  | 1.75  | 1.74      |        | 1.62   | 1.69   | 1.93          | **   |    | ** |
| 2  | 私は、新しく親になる人にとって、手本になるような親である       | 1.07  | 1.18  | 0.98      | **     | 0.85   | 1.07   | 1.31          | **   | *  | ** |
| 3  | 私にとって、子育ては自分で対処しやすく、問題も比較的簡単に解決できる | 1.20  | 1.26  | 1.15      |        | 0.95   | 1.22   | 1.45          | **   | ** | *  |
| 4  | 私には、自分の子どもの世話をするために必要な技量がある        | 1.29  | 1.33  | 1.26      |        | 0.98   | 1.33   | 1.58          | **   | ** | *  |
| 5  | 何が子どもを悩ませているかを、一番よく知っているのは私である     | 1.30  | 1.05  | 1.53      | **     | 1.13   | 1.25   | 1.53          | **   |    | *  |
| 6  | 私は、親として経験を積んで、子育てにすっかり慣れた          | 1.07  | 1.16  | 0.99      | *      | 0.95   | 1.14   | 1.13          |      |    |    |
| 7  | 私は、よい親としての能力を十分に備えている              | 1.05  | 1.16  | 0.95      | **     | 0.80   | 1.12   | 1.25          | **   | ** | ** |
|  | Q18合計点                             | 8.74  | 8.89  | 8.61      |        | 7.27   | 8.82   | 10.19         | **   | ** | ** |

表2-3. 性別およびEPSI得点高低3群別集計結果(3)

|                           | 合計  | 男性    | 女性    | 男女<br>T検定 | A      | B      | C      | 順位<br>和検<br>定 | 多重比較 |    |    |    |
|---------------------------|---|-------|-------|-----------|--------|--------|--------|---------------|------|----|----|----|
|                           |   |       |       |           | EPSI低群 | EPSI中群 | EPSI高群 |               | AB   | AC | BC |    |
| 対象人数                      | 323   | 152   | 171   |           | 110    | 108    | 105    |               |      |    |    |    |
| <b>Q20. SOC：人生に対する感じ方</b> |   |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |    |
| 1me                       | あなたは、自分のまわりで起っていることがどうでもいい、という気持ちになることがありますか<br><とてもよくある1点~まったくくない7点>                         | 4.05  | 4.01  | 4.09      |        | 3.35   | 4.04   | 4.80          | **   | ** | ** | ** |
| 2co                       | あなたは、これまでによく知っていると思っていた人の、思わぬ行動に驚かされたことがありますか<br><いつもそうだった1点~まったくなかった7点>                      | 4.11  | 4.07  | 4.13      |        | 3.97   | 4.02   | 4.33          |      |    |    |    |
| 3me                       | あなたは、あてにしていた人に、がっかりさせられたことがありますか<br><いつもそうだった1点~まったくなかった7点>                                   | 3.77  | 3.8   | 3.75      |        | 3.49   | 3.70   | 4.13          | **   |    | ** |    |
| 4me                       | 今まで、あなたの人生には、明確な目標や目的が<br><全くなかった1点~あった7点>  | 4.49  | 4.47  | 4.51      |        | 3.81   | 4.54   | 5.16          | **   | ** | ** | ** |
| 5ma                       | あなたは、不当な扱いを受けているという気持ちになることがありますか<br><よくある1点~まったくくない7点>                                       | 4.21  | 3.88  | 4.51      | **     | 3.95   | 4.13   | 4.57          | *    |    | ** |    |
| 6co                       | あなたは、不慣れた状況にいると感じ、どうすればよいかわからない、と感じることがありますか<br><とてもよくある1点~まったくくない7点>                         | 4.06  | 4.03  | 4.09      |        | 3.56   | 3.99   | 4.65          | **   |    | ** | ** |
| 7me                       | あなたが毎日していることはくつろく退屈である1点~喜びと満足をあたえてくれる7点>   | 4.64  | 4.41  | 4.84      | **     | 3.93   | 4.67   | 5.35          | **   | ** | ** | ** |
| 8co                       | あなたは、気持ちや考えが非常に混乱することがありますか<br><とてもよくある1点~まったくくない7点>  | 4.42  | 4.72  | 4.16      | **     | 3.51   | 4.63   | 5.16          | **   | ** | ** | *  |
| 9ma                       | あなたは、本当なら感じたくないような感情をいだいてしまうことがありますか<br><とてもよくある1点~まったくくない7点>                                 | 3.83  | 4.03  | 3.64      | *      | 3.29   | 3.86   | 4.35          | **   | ** | ** | *  |
| 10co                      | どんなに強い人でさえ、ときには「自分はダメな人間だ」と感じることもあるものです。あなたは、これまで「自分はダメな人間だ」と感じたことがありますか。<よくあった1点~まったくなかった7点> | 3.33  | 3.37  | 3.29      |        | 2.94   | 3.24   | 3.82          | **   |    | ** | *  |
| 11co                      | 何かが起きたとき、ふつう、あなたは、<そのこと粗過大評価にしたり過小に評価してきた1点~適切な見方をしてきた7点>                                     | 4.23  | 4.38  | 4.11      | *      | 3.74   | 4.18   | 4.81          | **   | *  | ** | ** |
| 12me                      | あなたは、日々の生活で行っていることにほとんど意味がない、と感じることがありますか<よくある1点~まったくくない7点>                                   | 4.77  | 4.66  | 4.87      |        | 4.00   | 4.64   | 5.70          | **   | ** | ** | ** |
| 13ma                      | あなたは、自制心を保つ自信がなくなることがありますか<よくある1点~まったくくない7点>  | 4.49  | 4.66  | 4.34      | *      | 3.83   | 4.44   | 5.23          | **   | ** | ** | ** |
|                           | Q20. SOC合計点   | 54.39 | 54.47 | 54.32     |        | 47.36  | 54.07  | 62.08         | **   | ** | ** | ** |
|                           | co予測可能感合計   | 20.64 | 21.22 | 20.13     | *      | 18.07  | 20.68  | 23.30         | **   | ** | ** | ** |
|                           | ma把握可能感合計   | 15.80 | 15.70 | 15.88     | *      | 14.21  | 15.52  | 17.75         | **   | *  | ** | ** |
|                           | me有意義感合計  | 17.95 | 17.55 | 18.30     |        | 15.08  | 17.88  | 21.02         | **   | ** | ** | ** |
| <b>Q21 対人スキル</b>          |   |       |       |           |        |        |        |               |      |    |    |    |
| 1                         | 自分の感情を適切に表現することができる   | 1.61  | 1.61  | 1.62      |        | 1.30   | 1.58   | 1.97          | **   | ** | ** | ** |
| 2                         | 自分の意見を相手に伝えることができる  | 1.73  | 1.71  | 1.75      |        | 1.31   | 1.73   | 2.17          | **   | ** | ** | ** |
| 3                         | 相手の言うことに耳を傾けることができる   | 2.08  | 2.03  | 2.13      |        | 1.89   | 2.04   | 2.33          | **   |    | ** | ** |
| 4                         | 相手の言葉や感情を理解できる  | 2.01  | 1.95  | 2.06      |        | 1.77   | 2.04   | 2.22          | **   | ** | ** | *  |
| 5                         | 自分の感情をコントロールできる   | 1.74  | 1.8   | 1.68      |        | 1.43   | 1.78   | 2.03          | **   | ** | ** | ** |
| 6                         | 自分を否定的に見ないで、長所を見つけようとする   | 1.59  | 1.6   | 1.57      |        | 1.22   | 1.58   | 1.97          | **   | ** | ** | ** |
| 7                         | 相手と一緒に解決策を見出そうとする   | 1.88  | 1.86  | 1.89      |        | 1.60   | 1.86   | 2.18          | **   | ** | ** | *  |
| 8                         | 相手を理解するスキルを上達させようとする  | 1.69  | 1.72  | 1.66      |        | 1.35   | 1.75   | 1.99          | **   | ** | ** | *  |
| 9                         | あまり好きでもない人と一緒に仕事ができる  | 1.61  | 1.51  | 1.70      | *      | 1.45   | 1.63   | 1.76          | *    |    | ** |    |
| 10                        | ライフスキル(上にあげたような社会においてよりよく生きるための基本的能力)を学習したい   | 1.85  | 1.72  | 1.97      | **     | 1.65   | 1.88   | 2.05          | **   |    | ** | ** |
|                           | Q21対人合計点  | 17.79 | 17.51 | 18.04     |        | 14.95  | 17.87  | 20.68         | **   |    |    |    |

図1. 平成15～17年度調査の対象別EPSI下位尺度平均値

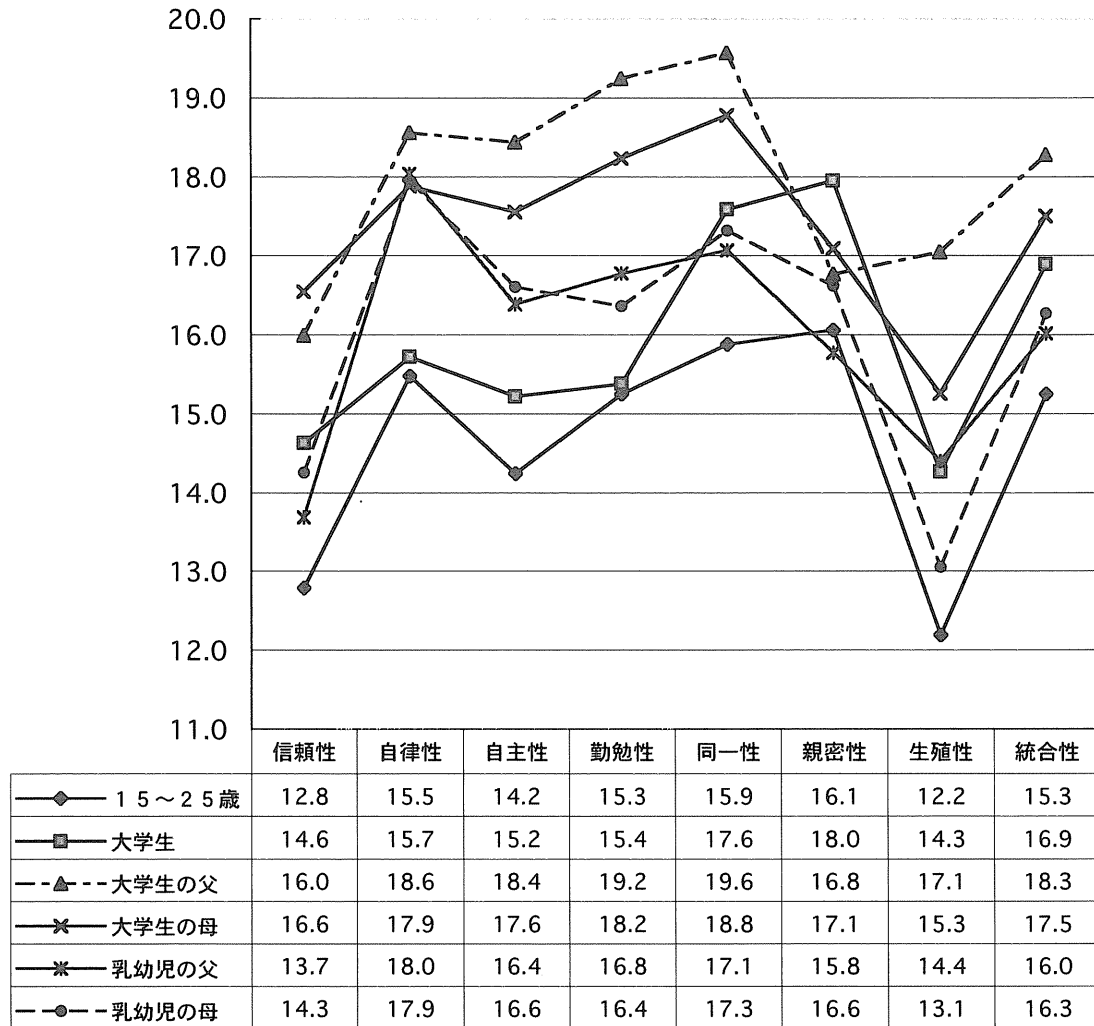
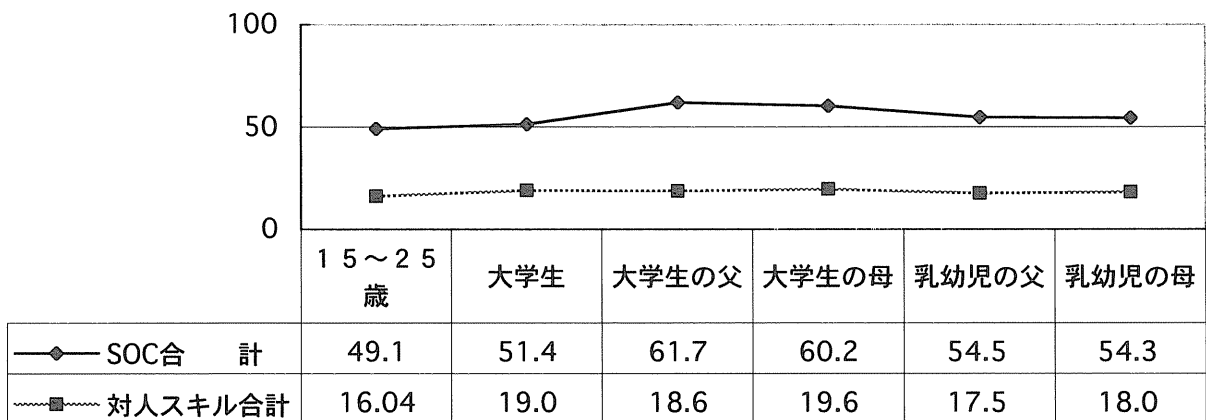


図2. 平成15～17年度対象別SOC・対人スキル得点平均値



**Q19. EPSI (エリクソン心理社会段階目録検査) 項目**

|   |  |
|---|--|
| <p><b>信頼性</b></p> <p>1.*私に、もっと自分をコントロールする力があればよいと思う</p> <p>2.*良いことは決して長続きしないと、私は思う</p> <p>3. 私は、世間の人たちを信頼している</p> <p>4. 周りの人々は、私のことをよく理解してくれている</p> <p>5.*私には、何事も最悪の事態になるような気がしてくる</p> <p>6. 世の中は、いつも自分にとってよい方向に向かっている</p> <p>7.*周りの人たちは、私を理解してくれない</p>   | <p><b>同一性</b></p> <p>29. 私は、自分が何になりたいのかをはっきりと考えている</p> <p>30.*私は、自分が混乱しているように感じている</p> <p>31. 私は、自分がどんな人間であるのかをよく知っている</p> <p>32.*私は、自分の人生をどのように生きたいかを自分で決められない</p> <p>33.*私は、自分のしていることを本当はわかっていない</p> <p>34. 私は、自分が好きだし、自分に誇りをもっている</p> <p>35.*私には、充実感がない</p> |
| <p><b>自律性</b></p> <p>8.*私は、何事にも優柔不断である</p> <p>9.*私は、決断する力が弱い</p> <p>10.*私は、自分という存在を恥ずかしく思っている</p> <p>11. 私は、自分で選んだり決めたりするのが好きである</p> <p>12.*私は、自分の判断に自信がない</p> <p>13.*私は、この世の中でうまくやっていると決まってしまう</p> <p>14. 私は、物事をありのままに受け入れることができる</p>  | <p><b>親密性</b></p> <p>36.*誰かに個人的な話をされると、私は当惑してしまう</p> <p>37. 私は、特定の人と深いつきあいができる</p> <p>38. 私は、あたたかく親切な人間である</p> <p>39.*私は、もともと1人ぼっちである</p> <p>40. 私は、他の人たちと親密な関係を持っている</p> <p>41.*私は、他の人よりも目立つのを好まない</p> <p>42.*私は、他の人たちとなかなか親しくなれない</p>                        |
| <p><b>自主性</b></p> <p>15.*私には、みんなが持っている能力が欠けているようである</p> <p>16.*私は、誰か他の人がアイデアをだしてくれることをあてにしている</p> <p>17. 私は、多くのことをこなせる精力的な人間である</p> <p>18.*たとえ本当のことであっても、私は否定してしまうかもしれない</p> <p>19.*私は、リーダーというよりも、むしろ後に従っていくほうの人間である</p> <p>20.*私は、いろんなことに対して罪悪感を持っている</p> <p>21. 私は、してはいけないことに対して、自分でコントロールできる</p> | <p><b>生殖性</b></p> <p>43. 私は、後輩や部下のめんどうをよく見る</p> <p>44. 私は、将来に残すことのできる業績をあげつつある</p> <p>45. 私は、よい親である(親になる)自信がある</p> <p>46.*私は、後輩や部下を指導するのが苦手である</p> <p>47.*私は、自分を甘やかすところがある</p> <p>48.*私は、親であること(親になること)が不安である</p> <p>49. 私は、未来を担う子どもたちを育てていきたいと思う</p>          |
| <p><b>勤勉性</b></p> <p>22. 私は、いっしょうけんめいに仕事や勉強をする</p> <p>23. 私は、自分が役に立つ人間であると思う</p> <p>24. 私は、目的を達成しようとはがなばっている</p> <p>25. 私は、自分の仕事をうまくこなすことができる</p> <p>26.*私は、物事を完成させるのが苦手である</p> <p>27.*私は、のらりくらりしながら多くの時間をむだにしている</p> <p>28.*私は、頭を使ったり、技術のいる事柄はあまり得意ではない</p>  | <p><b>統合性</b></p> <p>50.*私は、自分が死ぬことを考えると不安である</p> <p>51. 私のこれまでの人生は、かけがえのないものだと思う</p> <p>52.*私は、生きがいをなくしてしまっている</p> <p>53. 私は、悔いのない人生を歩んでいる</p> <p>54. 私は、自分の死というものを受け入れることができる</p> <p>55.*私には、もっと別の生き方があるのではないかと思う</p> <p>56.*私の人生は、失敗の連続のように思う</p>           |

＜EPSI採点法＞ (＊印の逆転項目)

|             |    |      |
|-------------|----|------|
| 全くあてはまらない   | 0点 | (4点) |
| ほとんどあてはまらない | 1点 | (3点) |
| あまりあてはまらない  | 2点 | (2点) |
| かなりあてはまる    | 3点 | (1点) |
| とてもよくあてはまる  | 4点 | (0点) |

出典：中西信男・佐方哲彦. Epsiーエリクソン心理社会的段階目録検査ー.上里一郎監修.心理アセスメントハンドブック第2版,西村書店,2001; 365-376

